

# 京都税理士協同組合ニュース KYOZEIKYO

発行所  
京都税理士協同組合  
発行人 上 田 寛  
編集人 井 上 玲 子  
〒604-0943  
京都市中京区麩屋町通御池上ル  
上白山町2 5 8-2  
電話(075)222-2311  
E-mail kyozei@kyozei.or.jp



談山神社の神饌

中京支所 林 良 三 郎

# 新年のごあいさつ



理事長

## 上田 寛

明けましておめでとう存じます。

平成17年の新春を迎えるにあたり、先生はじめご家族皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

さて、去年は台風、地震、大津波が猛威を振り、国内外で死者15万人を超える大災害が発生、誠に心痛む悪夢のような年となりました。被災された方々に心からお見舞い申し上げ深く哀悼の意を表する次第です。

昨年組合は、京都税理士会館の新築、移転という大事業を組合員、関係各位の絶大なご支援とご協力により見事遂げ、4月5日の竣工式典以後、会館は組合員の利便に資するとともに、京都府民、市民のための、税理士による社会的貢献事業展開の拠点として、愈々その機能を発現しはじめました。組合員、税理士はその業務の独占性を重く受けとめ、支部連の実施する無料税務相談事業等の対外的事業に積極的に参加、協力し、税理士の社会的有用性を高め、納税者の信頼を得て税理士制度の強化発展を図り、京都税理士会館の存在価値を地域住民の間に定着させなければと考えています。

現時点での、組合の運営と経営は、お蔭様で組合員各位のご協力と関係各位のご支援により、当初計画通りに実行され堅実に推移しています。誠にご同慶の至りと感謝に堪えない次第です。一方組織面では、改正税理士法施行にともなう税理士法人、補助税理士問題は、組織の弱体化を回避するための賛助会員制度を制定、既組合員の救済は一段落いたしました。ご協力に厚く御礼申し上げます。今後の組織の強化発展は、相互扶助の組合精神に基く組合員の一致協力と、魅力ある組合事業の推進と開発を置いて他に無いと考えます。今一度、組合創立時の原点に戻り、新しい変革の時代に発展を続ける組合の運営と経営のあり方を考えなければと思っています。

ところで、今回の新会館建設にあたり売却した旧会館の跡地はマンションの建築中で、旧会館の面影はなく一抹の淋しさをきんじえないが、旧会館が土台となって新会館が出来たことで、旧会館建設に情熱を燃やし活動した先輩諸兄のお許しはいただけるものと思っています。

今日の京税協を支える伝統の形成に重きをなす、先輩諸兄の旧会館建設と協同組合設立に懸けた熱い思いを風化させぬ為紙面の許す範囲で、先輩諸兄の情熱と努力そして実りを「大税京都府支部税理士会館建設特集」掲載のメッセージのタイトルの一部をもってご紹介

いたします。

S45. 9. 1 「建設特集」第一号 600会員の殿堂実現いま一步。事業協組で実効ある運営へ。支部全会員の総力結集を熱望。早くも1367万円出資金申込み好調。117名

S47. 1.27 「建設特集」第三号 会館建設資金6500万円。会員一人平均10万円是が非でも出しあおう。今や会館建設の成否はこの必要資金が調達できるかどうかにかかっている!! 「青年税理士」奮起しよう。税理士の社会的地位の向上を図る基礎的大事業である。

S47. 4. 1 「建設特集」第四号 会館出資申込み最後の追込に期待する。今すぐ出資申込を!! 3月29日現在、出資申込金額3203万円に達す。

S47. 7.10 「建設特集」第五号 京都税理士協同組合創立総会は来る7月22日に決定。地鎮祭を7月16日に挙る。

S47. 8.20 「建設特集」第六号 京都税理士協同組合遂に誕生。初代理事長に廣瀬來三氏。専務理事に森金次郎氏。

S48. 3. 1 「建設特集」第七号 京都税理士会館誕生、2月24日午前11時より、新築になった京都税理士会館において名士多数を招き、落成式並びに祝賀会が挙行された。

## 【チャリティー寄附】

過日開催いたしました2回のゴルフコンペと一泊旅行のチャリティー、また、その他組合員の善意を合せまして、去る11月25日に(財)京都新聞社会福祉事業団に寄託しました。

京 都 府 共 同 募 金 会

2004年(平成16年)11月26日 金 曜 日



した寄託は23回目、総額1532万5000円となりました。

83万円を寄託 京都税理士協同組合(上田理事長、組合員1400人、中京区熱屋町通御池上ル)が83万3006円を寄託した写真。組合員が参加して開いたチャリティーゴルフコンペや旅行の際に集めた善意などを合わせ、作見蔵市副理事長、小坂文夫専務理事が代表して持参

歳末ふれあい資金  
京都新聞社会福祉事業団扱い

25日

## 京都府共同募金会(赤い羽根共同募金)へ寄付

平成16年12月2日、林副理事長と小坂専務理事が社会福祉法人「京都府共同募金会」を訪れ、当組合からの善意(30,000円)と全国税理士共栄会創立30周年記念事業で行われたチャリティー(101,400円)の寄付を行った。

紙面をお借りし、ご協力をいただいた全国税理士共栄会創立30周年記念事業に出席された先生方に厚くお礼申し上げます。

なお、京都府共同募金会への寄付は今回が初めてで、今後も継続して共同募金活動の推進を展開する予定です。先生方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 第19回(平成16年度)全国統一 キャンペーン優績営業職員表彰式

京都税理士協同組合では、去る1月18日、京都ブライトンホテルに於いて「第19回VIP大型総合保障制度・全税共年金全国統一キャンペーン」で、優秀な成績を挙げられた方々の表彰式を開催しました。

式は、小坂文夫専務理事の司会のもと上田寛理事長が挨拶をされ、森金次郎・日本税理士連合会会長はじめ多数のご来賓の方々のご祝辞をいただき、表彰式に移りました。今年度は新たな賞も加わり例年より多数の受賞者が表彰されました。

式終了後、懇親会が催され、二代目森乃福郎の古典落語「無いもの買い」で笑い、抽選会では「冬ソナ・韓流グッズプレゼント」で楽しみ、盛大に華やかに宴が進められました。



### 受賞者ご芳名 (順不同・敬称略)

#### ◆VIP大型総合保障制度

理事長賞	第一生命京都総合支社	今井 恵子
	〃	中山 好子
	日本生命京都西支社	西田 珠恵
	〃	小島 三恵
	〃 京都南支社	草木紀代子
	明治安田生命京都支社	西川 郁子
	住友生命京都支社	縄舟 美鈴
	AIGエジソン生命京都第一エイジェンシーオフィス	田中千鶴子

金 賞	朝日生命京滋支社	中西 道子他6名
銀 賞	アリコジャパン京都烏丸エイジェンシーオフィス	神田 泰伸他14名
銅 賞	日本生命京都南支社	三井真由美他48名
努力賞	住友生命京都支社	西本美知子他67名

#### ◆全税共年金

努力賞 第一生命京都総合支社 揚村 幸恵

#### ◆特別賞

##### キングオブキングス

日本生命京都西支社 西田 珠恵  
AIGエジソン生命京都第一エイジェンシーオフィス 田中千鶴子

#### ◆連続入賞者

雅ファイブ 朝日生命京滋支社 久下萬里子他5名

#### ◆優秀機関長

第一生命京都総合支社 木下 和子他20名

#### ◆優秀支社賞30

第一生命京都総合支社

#### ◆優秀支社賞20

朝日生命京滋支社

#### ◆優秀支社賞10

住友生命京都支社

AIGエジソン生命近畿総支社

### 謝 辞

受賞者を代表致しまして一言ご挨拶申し上げます。  
本日は「全税共創立30周年記念・第19回全国統一キャンペーン」の表彰式ならびに懇親会にお招き頂きまして誠に有り難うございます。

今回、表彰をお受けになられた営業職員の皆様は13社148名とお伺いしています。壇上からではございますが心よりお慶び申し上げます。これもひとえに役員先生はじめ税理士先生方のご理解とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、昨年は台風による各地での災害、新潟中越地震による災害、スマトラ沖地震と津波など、年間を通して多くの自然災害が発生し、多数の犠牲者が出ました。私ども営業として、保障はどうなのか、お役に立てたのだろうか、保険の重要性を痛感しております。

一方、日本経済も緩やかな回復と言われておりますが、現実はまだまだ厳しい環境が続いています。

提携生保として、全税共様が掲げる三つの基本理念「関与先企業の繁栄に貢献」、「提携企業と共栄」、「税理士業界の発展に寄与」のもと、お客様の最大の満足を実現するために真剣に考え、迅速に行動し、保険会社としての使命を果たし、税理士先生方の関与先企業の福祉共済、経済的地位の向上に、更に貢献をしていきたいと思っています。

私たちにとりまして、全税共キャンペーンは大きな目標です。

昨年は全税共創立30周年記念の年でした。本年は全税共『第20回全国統一キャンペーン』と節目の年です。来年もこの栄えある表彰式により多くの営業職員が出席できます様、私たちもより一層努力を重ねて行く所存です。今後とも税理士先生方々のご支援、ご鞭撻の程宜しくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、京都税理士協同組合の益々のご発展と、本日までご出席されておられます皆様のご活躍、ご多幸を祈念申し上げ、かたんではございますが御礼の言葉とさせていただきます。

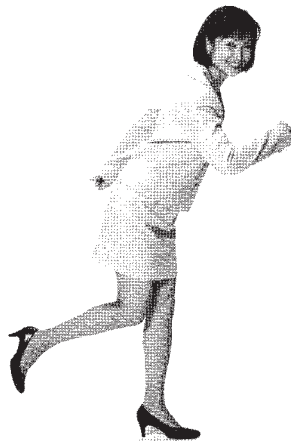
平成17年1月18日

A I G エジソン生命保険株式会社  
京都第一エイジェンシーオフィス 田中千鶴子

## 全国税理士共栄会だより No.344 (2004年12月号)

### 今年もご支援、ありがとうございました。

全税共は 30周年を機に来年、新たな歴史づくりに挑みます!



#### <VIP大型総合保障制度>

- 経営者大型保険  
最高2億円の大型保障
- 経営者保険総合プラン  
幹部社員の退職金準備に
- 経営者保険スーパープラン  
ガンや生活習慣病を保障
- 団体所得補償保険  
税理士には月額最高200万円を補償
- 新・団体医療保険  
入院1日目から補償!  
は帰り入院も補償!

#### <全税共年金>

毎月1万円から積立OK

#### <その他の事業>

- 全税共ゴールドカード
- ・JCB-Zゴールドカード
- ・Zダイナミクスカード
- ホーリウィン100万円保険
- 人間ドックサービス  
新型画像装置PETによる  
検診サービス

税理士  
業界と  
関与先  
の繁栄  
のために  
ご利用  
ください、  
全税共  
の事業

第19回全国統一キャンペーンへのご協力に御礼申し上げます。

### なりませんか、税理士VIP代理店 収入源を増やし、事務所の体力強化に効果!

税理士VIP代理店の仕事＝「VIP大型総合保障制度」と「全税共年金」の普及ならびに契約の保全など

全税共の事業はホームページでご案内しています。http://www.zonzeikyo.com/

平成17年新春講演会

# 新年経済と今後の展望



講師 本間 正明 先生  
(大阪大学大学院経済研究科教授)

私は小泉内閣で経済財政諮問会議の民間議員ということで、この3年8ヶ月ぐらい、いわば構造改革の作戦本部的なところで仕事をして来た立場から、今の経済をどう見ているのか、あるいは今後何をしなければならないのかということをお話させていただきたいと思います。

一昨年の春あたりから相当景気の状態が良くなりました。とりわけ製造業、大企業を出発点にしながらそれが徐々に徐々に非製造業、中小企業にまで及んだというのが、一昨年の春から実は昨年の4-6期までの動きであります。企業収益が非常に回復してくるという事態が生じました。われわれ02年の難局を経て03年の春から、それまで悲観色一色であった状況から「この日本まだやっていけるぞ!」という自信回復を持ったのが03年から今までの一年半、強気の中で過ごしてきたのが実態であると思います。昨年の4-6期あたりから少し中だるみの状況が続いております。しかし製造業、非製造業を問わず、企業レベルにおける収益構造が依然として強いというところに私は今回の景気の中だるみという表現を使い、しかも来年の我々の改革終了期間までに、デフレ脱却のめどをつけたいと思ひまして、今年はこの踊り場の状況を前に向けて速やかに上昇する機構に再設定したいという気持ちで構造改革に取り組んでいます。

今幾分足踏み状態であるが、昨年度の経済成長率は2.1%ぐらいであろうと考えています。

この成長率は公共事業依存型の景気回復ではなかったと申し上げましたが、もう一つの特徴として2%ぐらいの成長率で企業の収益の改善が顕著であったと言う事です。企業がこの3、4年必死でリストラを敢行

し、2.1%の成長率でも収益を目指せる費用構造を作り上げたという事が大きな特徴であります。政府を頼っていてもしょうがない、自分の所が贅肉を落として取り組まなくてはいけないという機運が、実際の行動につながって成果を上げてきたのが実態であると思います。

今中国との関係は非常にプラスの領域になっていきます。今まで中国が全部マーケットを奪うといういい方をされていましたが、里帰り現象が起こって、拠点の部分は中国に出さない。外国へ出さない。国内に技術を保持していこうという考え方で最先端部分が自信を回復しつつあります。キーワードは中国経済との補完性の問題。これが今かなりいい状況を作りつつあると思います。

もう一つは海運業界。物流が世界の中で中国を起点にして動き始めると、日本が今までやってきた事がビジネスの種になっていくという事。今海運業界は日本人の船員さんはほとんどいません。全部為替レートの賃金ベース、船員さんですから外国ベースで賃金を支払う事が出来る、徹底的にそういう事をやりながら生産性をあげてきた部分が、今となって太い物流の流れの中で過去の努力がプラスに作用している。鉄工業界もそうですし、素材型産業がここにきて息を吹き返してきている。海外部門でも儲けの半分近くをほとんどの製造業が稼いでいるという現実である。稼ぎは半分近く海外から得ている、こう言う事態を冷静に受け止めていく必要があるんだろうと思います。

今の経済状況を考えていきます時に、実はこれまでとはきわめて違う状況を生み出しているという事を実感されていると思います。グローバル化は人、物、金稼動経済になる、国内経済だけで問題を考えていてはダメだという、こういう状況を見出したと同時に変動価格経済になってくる。すでに価格体系がきわめて変化する経済になっていると言う事が、皆さんのお仕事の中でも重要な要素になっていると思います。

今までバランスシートなど気にする人がいなかったものであります。ある意味でキャッシュフローだけみていたらいい経済状況が、ずっと続いたというのが戦後の成長期までの動きでしたし、80年代の経済の動きでした。だから経済学者、税法学者は、早く時価と簿価との関係の整備が必要なのではないかと言っていました。現場では反対でした。本来時価でやるべきだと言う事は当然ナチュラルな経済状況であれば起こるわけです。しかし戦後は特異な経済状況でありました。それは日本を取り巻く経済が超過需要経済であったという事です。

## 《講師プロフィール》

- 1944年 北海道生まれ。大阪大学1967年卒業、大学院を経て大阪大学教授となる。
- 1979年 英国ウォーリック大学客員教授
- 1985年 大阪大学経済学部教授
- 1993年 英国ロンドン大学(LSE)客員研究員
- 1997年 大阪大学経済学部長
- 1998年 大阪大学大学院経済研究科長、大阪大学経済学部長
- 1998年 大阪大学副学長 大阪大学大学院経済研究科教授
- 2000年 大阪大学大学院経済研究科教授

『著書』「税制改革で変わる日本経済」「財政危機脱却」  
「コミュニティビジネスの時代」等多数